セクハラ対策 WG 活動報告

01/9/24

セクハラ対策 WG

- 夏の学校での不祥事の防止・対策
- アンケート結果
- 来年度への引き継ぎ

夏の学校での不祥事の防止・対策

- 女性に対する注意メモの配布。
- 相談窓口の開設。
- 参加申し込みHPに、去年のできごとと注意の呼び掛けの文書を置いた。
- 女性フロアに「男子禁制」の立て札を置いた。

窓口には相談が1件寄せられたが、
去年に比べて改善された。

＊ 酔った男性が男女構わず抱きつき、多数の人間が不快な思いをした。

対策に関するアンケート結果

- 女性のほとんどが
  窓口は利用しやすそうだったと回答した。
- 8割以上の人が来年も窓口は必要と回答した。
- 回答したほとんどの人が、
  注意メモが予防に効果があったと答えた。
- 「窓口の存在自体によって、去年に比べて
  雰囲気がピリッとして良かった。」

とった対策は非常に有効であった。

来年度への引き継ぎ

- 今年度の議論、活動内容を保存

[ML、議題]

- 対策の引き継ぎ

[メモ、立て札、HP での注意]

- 窓口の開設
- 改善点

[途中参加者への説明]

[参考資料]

窓口に寄せられた相談

- 酔った男性が男女構わず抱きつき、多数の人間が不快な思いをした。

  なおこの男性は途中参加で事情を全く知らなかった。

相談に対する処置

- 相談翌日(8月6日)の講義前
  相談の報告と注意の喚起を行った。
- 同日(8月6日)の夕刻(19:50ごろ)
  酒を飲む場合は節度を守るように呼びかけた。

来年度への対策

- 途中参加者に対する説明の徹底

[参考資料]

昨年度の不祥事

- 7月21日，M1懇親会終了後に，一人の女性が，男性に服を引っ張られた上に下着を引き出されてのぞかれた。
- 7月23日明け方（午前3時頃），一人の女性が宴会後に大浴場に入浴しに行ったところ，男湯前に立っていた男性の友人が，
  女風呂に一緒についてきた。その時，女風呂には誰もおらず，身体的接触があった（二件目の事件に関しては，総会の翌日，加害者から2000年度三者事務局宛に謝罪文が届いた。）。
- 7月23日午後10時頃，入浴後に脱衣所にいた女性が，機械室の扉が少し開いていることに気付いたため，その扉を押してみたところ，扉の向こう側から押し返され，人がいることを確認した。脱衣所にいた人全員が着衣した後，再度ノブを回して扉を開けようとしたら，扉の向こう側から鍵をかけられたため，フロントの人立ち会いのもと鍵を開け，機械室を探した。しかし，機械室には既に人は居らず，従業員用口が開いていて，そこから外へ逃げたことが分かった。